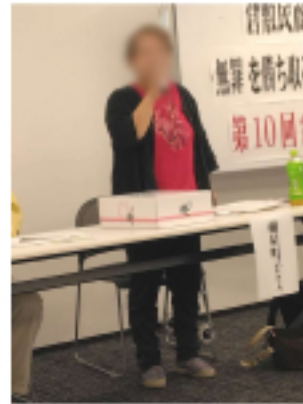


8月	行事・会議など日程	支部・専門部など
25 月	福商連事務局交流会 久留米 ↓ 法人集団申告 11:00～	財政新聞部会 19:00～ 月末集金 ↓
26 火		
27 水		
28 木		
29 金		
30 土		
31 日		
9月	行事・会議など日程	支部・専門部など
1 月	常任理事会 19:00～	陣原支部役員会 18:00～ 折尾支部役員会 19:00～ 婦人部役員会 13:30～
2 火		
3 水		
4 木		
5 金		
6 土		
7 日		
8 月	無料法律相談 18:30～ 消費税各界連総会 敬老の日 ↓ 記帳相談会 13:30～	15日末集金 
9 火		
10 水		
11 木		
12 金		
13 土		
14 日		
15 月		
16 火		
17 水		
18 木		
19 金		
20 土		
21 日		
	北九州ブロック婦人部学習会 13:00～	ウエル戸畑

お知らせ

《無料法律相談》
9月10日(水) 18:30～
※事前に連絡ください。
《記帳相談会》
9月16日(火) 13:30～
17日(水) 13:30～
民商事務所 ☎ 641-2417



無罪を目指し闘うねやさん

倉敷民商弾圧事件・無罪を勝ち取る福岡の会第10回総会が、8月10日福岡県弁護士会館(福岡市)で開催され、民商、国民救援会など31人、八幡西民商は清水事務局長が参加しました。初めに11年目の裁判をたたかっているねやさん本人から挨拶が行われ、事件を献身的に支えていただいている弁護団への感謝と裁判勝利に向けた引き続きの支援を訴えました。

裁判の主任弁護士である千田先生からは、事件発生からこれまでの裁判闘争を報告。「検察側がまともな立証を立てることが出来ず、莫大な時間が経過した」こと。「裁判ではまともな立証が出来ずにいる」こと。「そもそもねやさんは「参考人」であった」ことなどが明らかに



裁判闘争の報告をする千田弁護士(中央)

新役員に選出された福岡第一法律事務所の新原先生からは「裁判所は常に正しい判断をする」と多くの国民は思っているかもしれないが、そうではない。とりわけ、国家権力との争いになると、国の動向を気にしている。一方で、世論や国民の声も気になっている。われわれの運動にかかっている。皆さんとともに運動を広げ、一日でも早くねやさんの無罪を勝ち取るために頑張っていきましょう」と訴えた。

その後、活動報告・方針案、決算・予算案を吉原事務局長が報告、全会一致で採択されました。

今週のお花

ポチュラカの花言葉は「無邪気」「いつも元気」です。これらの花言葉は、ポチュラカが真夏の炎天下にも負けず、休むことなく次々と花を咲かせています。ポチュラカは花後に実が熟すと果が裂けて口が開く性質があることから、ポチュラカの名前はラテン語の「porta(門)」に由来しているとされています。



閉会あいさつでは福商連の田口会長から「この裁判は民商を守るためのたたかい。ねやさんを無罪にするために共に頑張ろう」と訴え、団結がんばろうと締めくくりました。



倉敷民商弾圧事件福岡の会の総会の会場

ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ ノーモア・ヒバクシャ ノーモア・ウォー 長崎を最後の被爆地に

知らなかった！気づいてよかった！ 労働保険学習会

8月6日、労働保険学習会を民商事務所で開催し、事務局含め4人が参加しました。

今回の学習会は、近年相談が多い従業員トラブルを予防しようとして開催したもので、現在従業員を雇用している方、これから雇用を考えている方、雇用しないといけない状況に備える方と、それぞれ状況は違いますが、自分の事業の勉強になると参加されていました。

内容は、『雇用保険加入・退職で注意しておくべき事』『近年、相談の多い従業員トラブルの事例』を主に、担当事務局から、実際に起きたトラブルやクレームを話しながら、その解決策や予防策をみんなで学びました。ある参加者からは、「え、有給の義務について知らなかった。今後は管理簿も作成していくようにします。」「会社として勤務ルールブックのようなものを作って周知しておく必要性がわかった。従業員トラブルは起ってからでは遅いというのはわかっていたけど、自分ではなかなか学習できなかった中で、今回誘ってもらったので参加したら本当に勉強になった。無料で学習・異業種交流ができて本当にありがたい。」などの感想が話されました。

近年では、SNSで労働者の権利などについて見かけることがよくあります。一昔とは違い、従業員側が制度や法律を理解する機会が圧倒的に多いと思いますので、事業所側も少しずつでも学習して、労働環境を整える事などに役立てていただければと思います。

事務局員 中園

参加者の感想

Aさん：○多くの参加者を望むが、本日は少人数だったことで具体的に質問出来て良かった。

○当社の改善点を1点ずつでもやっていこうと決意できた。

Bさん：○他社トラブルなど話して説明して頂いたので、とてもわかりやすかった。

Cさん：○有給休暇の付与日数等、表にさせていただき本当に解りやすかったです。

自分事のように聞き込んでいる方が多く感じられました。

後で思ったのですが、立聞きでもよいのでメイン会場へ移ればよかったなあと思いました。



サブ会場から観覧する参加者

館内で感じたこと

中学生、高校生、外国の方々、若い人達が熱心に観覧していました。時間が足りず、平和公園まで行く事が出来なかったのも、石破総理の姿を見る事も出来ず残念でした。

原水禁大会・長崎集会に参加して感じたこと

世界の歴史を見ても、日本国内の歴史を見ても、戦争のない時代はありません。日本国内が80年間巻き込まれないのは、日本国憲法9条があり、9条を守り大切にして、私達は80年前の悲劇を記憶し現代の問題として1人ひとりが考えて行動していかなければならないと思います。世界のトップの人達に届くように。

13時より移動中、バス車内で弁当昼食。その後、13時30分からは原爆資料館見学(1周30分程度、自由行動)、新日本婦人の会より千羽鶴15,000羽(15束)、福建労より千羽鶴4,000羽(4束)が贈答。この日は無料観覧でした。

石田元市議と私と他女性3人くらいで満員の中、見学中、途中ではぐれ全員ばらばらになりましたが、出口近くで再会。館内・館外も千羽鶴の多さ美しさに感動しました。各千羽鶴には、贈答者・団体名・個人名があり、平和への祈り・願いの言葉に、長い間目を向けていました。

今日は、色々と勉強させていただき、誠にありがとうございました。

八幡西民商 副会長 野嶋



メイン会場 ※スクリーン

会場内で感じたこと

参加者は国籍、年齢、性別、関係なく多くの方々が押しかけていました。心に残ったのは、若い人達が真剣に語り手、スピーチに耳を傾けて

8月9日、長崎市内で開かれた被爆80年・原水爆禁止2025年世界大会ナガサキデー集会在開催され、北九州市内から石田元市議を先頭に約48人が一緒のバスに乗り現地へ。八幡西民商からは、野嶋副会長が参加しました。

大雨の中、時間通りに会場へ着きましたが、すでにメイン会場は参加者が満員で、サブ会場へ回されスクリーンオンライン参加となりました。

被爆体験者の生存者が少なくなるなか、被爆者の声は生々しく、差別、偏見を受けながらも無差別殺人、生きとし生けるもの、自然を大量破壊、原子爆弾の怖さ、死んでも地獄、生きても地獄を会場いっぱい訴え続けていました。

世界各国の代表者スピーチは、原水爆がもたらす地球規模の自然破壊、人類滅亡の危機を訴え、どのように伝えたら世界の人々に響くか？各国の政府、首脳陣達に届くか？を語り続けていました。行動予定の関係上、会場には、1時間40分程しか滞在しませんでした。



メイン会場 参加者全員で黙祷